

## 「人生のやる気デザイン」研究部会（第9回）

日時：2021年1月14日（木）10：00～12：15

場所：オンライン（ZOOM使用）

出席：渡辺弥生・榎本淳子・倉住友恵・杉本希映・中井大介・中谷素之 各兼任研究員  
吉久知延所長・金沢千秋・山口和人・泉水里香

内容：（1）杉本研究員報告：「打ち込んできた活動に対する情熱とグリットの関係の調査結果」

- ◆問題と目的：今まで一番長く打ち込んできた活動の種類、打ち込み度、それに対する情熱が大学生の現在のグリットに関係があるかを明らかにすること
- ◆方法：対象者、調査内容、調査方法、調査期間
- ◆結果・考察：一般の大学生においてはこれまで打ち込んできた活動と現在のグリットはほぼ関連がないことが示された
- ◆大学生のグリットとレジリエンスとの関連の調査結果（抜粋）
- ◆今後の方針：グリットとレジリエンスの調査の第2弾／質的調査の研究計画と倫理審査
- ◆質疑応答

（2）中井研究員報告：「人生のやる気として『恋愛』に対するパッションにフォーカスした研究」

- ◆パッションの定義
- ◆パッションを測定する尺度
- ◆研究計画（仮）：（計画にそれぞれに目的、仮説、調査内容）
  - ① 青年期の恋愛に対するパッションと恋愛関係の葛藤場面における行動の関連
  - ② 青年期の恋愛に対するパッションと現代的恋愛様相との関連
  - ③ 青年期の恋愛に対するパッションを規定する要因の検討
  - ④ 青年は「恋愛」をどのようにとらえているのか—恋愛と結婚に対するパッション
- ◆本日も教示を頂きたい内容／質疑応答

（3）中谷研究員報告：「達成動機づけ研究の動向」

- ◆動機づけ研究の諸領域：①学業達成領域②発達領域③スポーツ領域④産業領域  
⑤保健・医療領域
- ◆学習動機づけ研究の理論的視点：①認知的視点②欲求論的視点③情動論的視点  
④環境論的視点
- ◆達成目標理論の動向：①学業領域から社会領域への拡大②目標構造への実践的介入
- ◆表：今後の達成目標研究への期待（Hulleman & Senko, 2010 を基に作成）
- ◆質疑応答

- ・次回研究会は 2021年2月8日（月）13：00～
- ・次々回は 2021年3月8日（月）13：00～